

- ・ アネクメーネとは
- ・ 重要NPC

アネクメーネとは

実力主義国家「アネクメーネ」は、ホイヘルン家が治める4つの領土のうちの1つです。帝都ルクスラから北へ徒歩で2日半ほど行ったところに位置しており、カプティ山岳と漆黒の砂漠の間にあります。

領主は、エクメーネを治めるエクレールの腹違いの姉、アネット・ホイヘルンです。

領土自体は、エクメーネよりも一回りか二回り大きい、といった程度の広さですが、エクメーネと比べると、強大な軍勢力を有していることが特徴です。

また、民主的なエクメーネと違い、厳格な実力主義に基づいて国が成り立っており、国内での勢力争いは絶える気配が一切ありません。

しかし、その頂点に立つアネットの持つ力が恐ろしく大きいために、現在は国家として保たれている状態です。

ホイヘルン領本土に最も近い領土で、南にある帝都ルクスラとの関係もまずまず良好です。

しかし、ダーレスブルクのレーゼルドーン大陸開拓にも密かに独自に手を貸しており、本土をも無視して自国だけの利益を追求しているのでは、と警戒されている部分もあります。

重要 NPC

アネット・ホイヘルン

アネクメーネを統治する、16歳の女性。エクレールの腹違いの姉。

父フリードリヒにその実力を認められ、ホイヘルン領の一部を任されることになった。

性格は高圧的で、特に自分から見て弱い者に対しては非常に無礼な態度をとる。

ただし、態度に見合った実力も持ち合わせており、特に魔法の才能は並の冒険者よりもはるかに高い。

しかし、その実力の伸び方があまりにも急激であったため、国の中では様々な憶測が飛び交っている。

両親との関係は良好であるが、フリードリヒは密かに彼女を警戒している部分もある。

兄カインとも良い関係を築いているが、妹エクレールのことを心配する彼に苛立ちも覚えている。

エクレールのことは徹底的に嫌っており、エクメーネへの侵略を目論んでいるのでは、と噂されることもある。